



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月4日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4042 URL <https://www.tosoh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑田 守
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室長 (氏名) 坂田 昌繁 (TEL) 03-6636-3713
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	274,174	11.8	31,183	93.9	34,302	143.6	19,456	198.0
2026年3月期第1四半期	245,128	△3.1	16,078	△18.9	14,082	△48.5	6,529	△59.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 27,683百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 1,803百万円(△92.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	63.19	63.19
2026年3月期第1四半期	20.50	20.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,468,941	928,684	57.3
2026年3月期	1,408,950	919,141	59.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 841,178百万円 2026年3月期 831,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	580,000	16.2	50,000	11.8	52,000	13.7	28,000	279.5	90.94
通期	1,170,000	14.7	105,000	9.9	107,000	0.2	59,000	41.8	191.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	325,080,956株	2026年3月期	325,080,956株
2027年3月期1Q	17,191,543株	2026年3月期	17,190,410株
2027年3月期1Q	307,890,006株	2026年3月期1Q	318,507,711株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項等は、添付資料の5ページをご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	P. 4
(4) 研究開発費に関する説明	P. 4
(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 12
3. 補足情報	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）の世界経済は、A I 関連の投資及び需要の拡大が下支えした一方、中東情勢の緊迫化を受けたエネルギー価格の上昇や物流・海上輸送の混乱により、先行き不透明な状況が続きました。米国では、A I 関連投資や個人消費が堅調な経済を支えました。中国では、公共投資やハイテク製造業、輸出が下支え要因となった一方、内需の弱さや不動産市場の低迷が継続しました。日本では、A I 関連需要が生産活動を下支えした一方、エネルギーの調達コスト上昇等を通じた企業収益や家計への影響が懸念されました。

このような情勢下、当社グループの連結業績については、売上高は、中東情勢の緊迫化によりナフサ価格及び主要製品の海外市況が上昇し、為替が円安で推移したことに伴い販売価格が上昇したことなどから、2,742億円と前年同期に比べ290億円（11.8%）の増収となりました。営業利益は、ナフサ価格の大幅な上昇により在庫受払差が大きく改善したことや、付加価値素材、高機能材料の出荷が増加したことから、312億円と前年同期に比べ151億円（93.9%）の増益となりました。為替相場の変動により為替差益を計上したことで営業外損益が改善し、経常利益は343億円と前年同期に比べ202億円（143.6%）の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、195億円と前年同期に比べ129億円（198.0%）の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントを従来の「石油化学」、「クロル・アルカリ」、「機能商品」、「エンジニアリング」の4区分から、「基礎素材」、「付加価値素材」、「バイオサイエンス」、「高機能材料」、「水处理エンジニアリング」の5区分に変更しており、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

（単位：億円）

	売上高			営業利益		
	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	増減	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	増減
基礎素材	1,117	1,248	131	△34	57	90
付加価値素材	376	429	52	39	82	43
（チェーン事業 計）	1,494	1,677	183	5	139	133

基 礎 素 材

エチレン、プロピレン及びキュメンは、四日市事業所エチレンプラント等の定修年及び原料ナフサ、プロピレン需要見合いでの生産量減少に伴い、出荷が減少しました。ナフサ価格の上昇により、エチレン及びプロピレンの販売価格は上昇しました。また、海外市況上昇の影響を受け、キュメンの販売価格は上昇しました。

ポリエチレン樹脂は、中東情勢の影響により需要の先取りが発生していることに加え、半導体分野向けHDPE樹脂やラミネート用LDPE樹脂の販売が堅調に推移しているため、前年同期に比べて出荷が増加しました。また、ナフサ価格の上昇により販売価格は上昇しました。

苛性ソーダは、南陽事業所の定期修繕規模の違いによる生産量の増加に伴い出荷が増加しましたが、海外市況の下落により輸出価格は下落しました。塩化ビニルモノマーは、中東情勢の影響による原料調達懸念により生産量が減少し出荷が減少しました。塩化ビニル樹脂は、国内外で出荷が増加しました。また、海外市況の上昇により塩ビ製品の海外販売価格は上昇しました。

セメントは、需要低調により国内出荷が減少しましたが、国内販売価格は上昇しました。

ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）は、南陽事業所の定期修繕規模の違いによる生産量の増加に伴い出荷が増加し、中東情勢の影響により海外市況が上昇したことで販売価格が上昇しました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ131億円（11.7%）増加し1,248億円となり、営業利益は、エチレン、プロピレン、キュメン等の出荷が減少し、原燃料価格の上昇により交易条件が悪化したものの、在庫受払差が大きく改善したことにより、前年同期に比べ90億円増加し57億円となりました。

付 加 価 値 素 材

クロロブレンゴムは、中東情勢の影響により出荷が増加しました。また、ブタジエン市況も中東情勢の影響により上昇しているため、販売価格は上昇しました。

ヘキサメチレンジイソシアネート（HD I）系硬化剤は、中東情勢の影響に伴う需要増加と海外市況の上昇により、出荷が増加し販売価格も上昇しました。

エチレンアミンは、中東情勢の影響によりアジア地域における引き合いが増加し出荷が増加しました。また、為替の影響により販売価格は上昇しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ52億円（13.9%）増加し429億円となり、営業利益は、エチレンアミンやクロロブレンゴムの出荷の増加や、在庫受払差の改善により、前年同期に比べ43億円（109.1%）増加し82億円となりました。

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	増減	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	増減
バイオサイエンス	154	154	0	46	57	11
高機能材料	301	343	42	25	32	7
水処理エンジニアリング	378	420	42	72	66	△6
(先端事業 計)	833	917	84	143	155	12

バ イ オ サ イ エ ン ス

計測関連商品は、欧州で液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が減少しました。

診断関連商品は、国内で体外診断用医薬品の出荷が増加しました。また、欧州で自動ヘモグロビン分析装置用の関連試薬の出荷が増加しました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ0億円（0.2%）増加し154億円となり、営業利益は、液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が減少したものの、為替の影響や製品構成差による交易条件の改善により、前年同期に比べ11億円（24.0%）増加し57億円となりました。

高 機 能 材 料

ハイシリカゼオライトは、国内は自動車及び環境用途、海外はアジア向けの自動車用途や石油化学触媒用途を中心に出荷が増加しました。欧米においては出荷が減少したものの、全体としては出荷が増加しました。

ジルコニアは、装飾用途や欧州における歯科用途の出荷が増加しました。

石英ガラスは、半導体用途において、旺盛なA I 需要を背景に、国内及び東アジア地域での出荷が増加しました。北米向けは出荷が減少したものの、全体としては出荷が増加しました。

スパッタリングターゲットは、国内出荷は前年同期並みでしたが、海外において半導体用途の出荷が増加しました。

電解二酸化マンガンは、乾電池用途において国内出荷は増加しましたが、海外向けの出荷が減少し、全体としては出荷が減少しました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ42億円（13.8%）増加し343億円となり、営業利益は、固定費が増加したものの、石英ガラスやハイシリカゼオライト等の出荷の増加により、前年同期に比べ7億円（29.1%）増加し32億円となりました。

水 処 理 エ ン ジ ニ ア リ ン グ

水処理エンジニアリング事業は、半導体関連の大型案件の受注が続く台湾において売上が引き続き高水準で推移するなか、米国でも大型案件が順調に進捗し、設備保有型サービスなどのソリューション案件も好調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ42億円（11.1%）増加し420億円となりました。営業利益は、前年同期に売上計上した好採算のプラント案件の反動による利益率の低下に加え、人件費やIT関連支出などの費用増加により、前年同期に比べ6億円（8.7%）減少し66億円となりました。

そ の 他

運送・倉庫、建設・修繕、検査・分析、情報処理等その他の売上高は前年同期に比べ23億円（18.6%）増加し148億円となり、営業利益は前年同期に比べ6億円（45.1%）増加し19億円となりました。

（２）財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、有形固定資産の増加等により、前期末に比べ600億円増加し1兆4,689億円となりました。

負債は、短期借入金、長期借入金の増加等により、前期末に比べ504億円増加し5,403億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の増加等により、前期末に比べ95億円増加し9,287億円となりました。

（３）キャッシュ・フローの状況に関する説明

現金及び現金同等物は、前期末に比べ136億円増加し、1,902億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億円の収入となりました。税金等調整前四半期純利益は増加したものの、売上債権及び棚卸資産の増加に加え、法人税等の支払額の増加等により、前年同期に比べ362億円収入が減少いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、200億円の支出となりました。設備投資による支出の減少等により、前年同期に比べ58億円支出が減少いたしました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは前年同期に比べ304億円支出が増加し、196億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、316億円の収入となりました。短期借入金及び長期借入金の増加等により、前年同期に比べ350億円収入が増加いたしました。

（４）研究開発費に関する説明

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は約61億円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月13日に公表した「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において、2027年3月期の連結業績予想を「未定」としておりましたが、現時点で入手可能な情報をもとに業績予想を下記のとおり修正しました。

なお、2027年3月期第2四半期（中間期）の業績予想の前提は、国産ナフサ価格を104,250円、為替レートを159.8円/US\$としております。また、2027年3月期下期（第3四半期・第4四半期）の前提は、国産ナフサ価格を77,000円、為替レートを160円/US\$としております。

2027年3月期 第2四半期（中間期）連結業績予想の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想（B）	580,000	50,000	52,000	28,000	90.94
増減額（B－A）	—	—	—	—	
増減率（％）	—	—	—	—	
（ご参考）前年同期実績 （2026年3月期第2四半期）	499,139	44,742	45,741	7,377	23.21

2027年3月期 通期連結業績予想の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想（B）	1,170,000	105,000	107,000	59,000	191.63
増減額（B－A）	—	—	—	—	
増減率（％）	—	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	1,019,917	95,532	106,752	41,615	132.40

詳細については、本日公表しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	179,616	191,365
受取手形、売掛金及び契約資産	280,319	292,247
電子記録債権	10,237	12,611
商品及び製品	148,360	155,923
仕掛品	16,029	19,656
原材料及び貯蔵品	79,062	79,053
その他	85,364	85,438
貸倒引当金	△924	△933
流動資産合計	798,066	835,362
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	126,643	169,889
土地	69,321	69,831
その他（純額）	227,790	194,967
有形固定資産合計	423,755	434,689
無形固定資産	14,519	15,122
投資その他の資産		
投資有価証券	80,561	86,533
退職給付に係る資産	63,400	63,701
その他	29,051	33,934
貸倒引当金	△402	△402
投資その他の資産合計	172,609	183,766
固定資産合計	610,884	633,578
資産合計	1,408,950	1,468,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	108,852	110,844
短期借入金	144,678	186,120
未払法人税等	20,387	14,444
引当金	18,143	12,033
その他	62,460	68,471
流動負債合計	354,523	391,913
固定負債		
長期借入金	84,232	96,017
引当金	1,847	1,072
退職給付に係る負債	18,700	18,792
その他	30,505	32,460
固定負債合計	135,286	148,343
負債合計	489,809	540,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	44,468	44,477
利益剰余金	692,473	696,534
自己株式	△34,416	△34,419
株主資本合計	757,698	761,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,158	29,202
為替換算調整勘定	26,176	28,184
退職給付に係る調整累計額	22,719	22,027
その他の包括利益累計額合計	74,054	79,413
新株予約権	40	40
非支配株主持分	87,347	87,465
純資産合計	919,141	928,684
負債純資産合計	1,408,950	1,468,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	245,128	274,174
売上原価	188,455	199,549
売上総利益	56,672	74,624
販売費及び一般管理費	40,593	43,441
営業利益	16,078	31,183
営業外収益		
受取利息	281	273
受取配当金	898	895
為替差益	—	1,665
持分法による投資利益	559	944
その他	756	901
営業外収益合計	2,495	4,679
営業外費用		
支払利息	819	1,373
為替差損	3,188	—
その他	484	187
営業外費用合計	4,491	1,560
経常利益	14,082	34,302
特別利益		
固定資産売却益	4	20
投資有価証券売却益	1,627	—
関係会社株式売却益	74	—
特別利益合計	1,705	20
特別損失		
固定資産売却損	3	1
固定資産除却損	458	1,124
減損損失	—	21
特別損失合計	462	1,147
税金等調整前四半期純利益	15,325	33,175
法人税等	6,477	11,197
四半期純利益	8,847	21,978
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,318	2,521
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,529	19,456

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	8,847	21,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△339	4,074
為替換算調整勘定	△6,245	1,473
退職給付に係る調整額	△332	△726
持分法適用会社に対する持分相当額	△127	884
その他の包括利益合計	△7,044	5,705
四半期包括利益	1,803	27,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	397	24,815
非支配株主に係る四半期包括利益	1,405	2,867

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,325	33,175
減価償却費	12,049	12,500
減損損失	—	21
退職給付に係る資産負債の増減額	△634	△1,270
受取利息及び受取配当金	△1,180	△1,168
支払利息	819	1,373
為替差損益 (△は益)	327	△345
持分法による投資損益 (△は益)	△559	△944
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△19
固定資産除却損	458	1,124
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,627	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△74	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	14,287	△13,141
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△349	△10,725
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,922	652
その他	16,354	△5,041
小計	43,275	16,191
利息及び配当金の受取額	2,161	2,049
利息の支払額	△716	△1,116
法人税等の支払額	△8,209	△16,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,511	360
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△26,489	△16,592
固定資産の売却による収入	1	29
投資有価証券の取得による支出	△1	△122
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,874	—
貸付けによる支出	△161	△3,357
貸付金の回収による収入	434	200
その他	△1,398	△114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,739	△19,957
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,401	36,325
長期借入れによる収入	6,930	18,800
長期借入金の返済による支出	△2,372	△5,097
配当金の支払額	△15,930	△15,405
非支配株主への配当金の支払額	△2,200	△2,620
その他	△305	△446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,478	31,556
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,596	1,645
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,697	13,605
現金及び現金同等物の期首残高	138,849	176,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	143,546	190,176

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	基礎 素材	付加 価値 素材	バイオ サイエ ンス	高機能 材料	水処理 エンジ ニアリ ング				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	111,714	37,642	15,410	30,134	37,781	12,444	245,128	—	245,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,945	7,032	217	526	570	20,652	45,944	△45,944	—
計	128,660	44,675	15,627	30,661	38,351	33,096	291,072	△45,944	245,128
セグメント利益 又は損失 (△)	△3,387	3,920	4,627	2,454	7,181	1,282	16,078	—	16,078

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、建設・修繕、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	基礎 素材	付加 価値 素材	バイオ サイエ ンス	高機能 材料	水処理 エンジ ニアリ ング				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	124,827	42,861	15,439	34,307	41,983	14,755	274,174	—	274,174
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,093	8,919	257	656	378	25,432	56,737	△56,737	—
計	145,921	51,781	15,696	34,963	42,361	40,187	330,912	△56,737	274,174
セグメント利益	5,661	8,197	5,738	3,169	6,555	1,861	31,183	—	31,183

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、建設・修繕、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更にに関する事項

従来、報告セグメントについては「石油化学」、「クロル・アルカリ」、「機能商品」、「エンジニアリング」の4区分を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結累計期間より「基礎素材」、「付加価値素材」、「バイオサイエンス」、「高機能材料」、「水処理エンジニアリング」の5区分に変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の区分方法により作成しております。

3. 補足情報

2026年度第1四半期連結決算概要

(1) 業績

(単位:億円)

	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	増 減	2025年度	2026年度(予想)
売 上 高	2, 451	2, 742	290	10, 199	11, 700
営 業 利 益	161	312	151	955	1, 050
経 常 利 益	141	343	202	1, 068	1, 070
親会社株主に帰属する四半期 (当 期) 純 利 益	65	195	129	416	590
1株当たり四半期(当期)純利益	20円50銭	63円19銭	42円69銭	132円40銭	191円63銭

(注) 億円未満は四捨五入

(2) 指標

	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	増 減	2025年度	2026年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	144. 6	159. 6	15. 0	150. 7	159. 9
為替[TTM期中平均](円/EUR)	163. 8	185. 4	21. 6	174. 6	185. 1
国産ナフサ価格(円/KL)	66, 300	118, 500	52, 200	65, 200	90, 625

(3) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

			2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	増 減	増 減 要 因			
						数量差	価格差	交易条件	固定費差他
チ エ ー ン 事 業	基礎素材	売上高	1, 117	1, 248	131	△ 46	177	-	-
		営業利益	△ 34	57	90	△ 4	-	△ 9	104
	付加価値素材	売上高	376	429	52	30	22	-	-
		営業利益	39	82	43	12	-	△ 2	33
	小計	売上高	1, 494	1, 677	183	△ 15	198	-	-
		営業利益	5	139	133	8	-	△ 12	137
先 端 事 業	バイオサイエンス	売上高	154	154	0	△ 9	10	-	-
		営業利益	46	57	11	△ 2	-	18	△ 4
	高機能材料	売上高	301	343	42	42	0	-	-
		営業利益	25	32	7	19	-	0	△ 12
	水処理エンジ	売上高	378	420	42	31	11	-	-
		営業利益	72	66	△ 6	△ 6	-	0	0
	小計	売上高	833	917	84	63	21	-	-
		営業利益	143	155	12	11	-	18	△ 16
	その他	売上高	124	148	23	16	7	-	-
		営業利益	13	19	6	6	-	0	0
合 計		売上高	2, 451	2, 742	290	64	227	-	-
		営業利益	161	312	151	24	-	6	121

(注) 億円未満は四捨五入

(4) 業績予想

(単位:億円)

			2025年度	2026年度 (予想)	増 減	2026年度(予想) 内訳	
						上期	下期
チ ェ ー ン 事 業	基礎素材	売上高	4, 501	5, 193	693	2, 647	2, 546
		営業利益	1	△ 27	△ 28	△ 31	4
	付加価値素材	売上高	1, 550	1, 783	233	916	868
		営業利益	257	272	15	146	126
	小計	売上高	6, 051	6, 977	926	3, 563	3, 413
		営業利益	258	245	△ 13	115	130
先 端 事 業	バイオサイエンス	売上高	682	739	57	343	395
		営業利益	193	218	25	109	109
	高機能材料	売上高	1, 153	1, 433	280	704	730
		営業利益	64	137	73	68	69
	水処理エンジ	売上高	1, 769	2, 000	231	900	1, 100
		営業利益	381	405	24	180	226
	小計	売上高	3, 604	4, 172	568	1, 947	2, 225
		営業利益	638	761	122	357	404
	その他	売上高	544	551	7	290	262
		営業利益	59	45	△ 14	29	16
合計	売上高	10, 199	11, 700	1, 501	5, 800	5, 900	
	営業利益	955	1, 050	95	500	550	

(注) 億円未満は四捨五入

(注) 当期からのセグメント変更に伴い一部の事業の所管を見直したため、2025年度の数値につきまして、

5/13発表の参考数値から一部変更しております。